



第125号 2015年9月

発行：萩ネットワーク協会
〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458
萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産に登録決定	P2
明治日本の産業革命遺産と萩	P4
夢追人 農事組合法人むつみ代表 山田和男(萩市)	P6
懐かしいお店 守田洗張店 守田一昭(萩市)	P7
住みたいね萩 トーフレオメガフレックスの皆さん(萩市)	P8
阿武川ダム～完成から40年	P11

萩市椿東中小畑の中ノ台で、海に突き出した形の石積の堤防を見ることができます。これは、幕府の要請や木戸孝允の意見により、安政3年(1856)に萩藩が設けた恵美須ヶ鼻造船所の遺構で、当時のままの防波堤が残っています。ここでは、安政3年と万延元年(1860)に、異なる国の技術により2隻の西洋式木造帆船が建造されました(詳しくは3ページで紹介)。

幕末に2隻の西洋式帆船を建造 ～恵美須ヶ鼻造船所跡～



明治日本の産業革命遺産

ユネスコ世界遺産委員会で登録決定！



6月28日から7月8日の日程（現地日程）で、ドイツのボンで開催されていた、国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会で日本時間の7月5日午後10時37分、萩の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産」が、世界遺産に登録されることが決定しました。



ドイツ（ボン）ワールド・カンファレンス・センター・ボンでの世界遺産委員会（現地時間7月5日）

世界遺産に登録

萩市では、平成18年から世界遺産登録を目指して市民の皆さんや、関係機関、構成資産を有するほかの自治体とともに取り組んできました。今年5月、ユネスコの諮問機関イコモスの「記載」勧告を受け、第39回世界遺産委員会、登録が決定、世界遺産委員会の最終日の7月8日に、世界遺産一覧表に「記載」されました。

なお、名称は、正式に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」となりました。

日本明治の産業革命遺産

幕末から明治末までの日本の急速な産業の近代化を物語る、北は岩手県から南は鹿児島県までの8つのエリアにわたる、8県11市の全23資産で構成されています。このような広域にわたる資産を一つのテーマのもとに束ねて世界遺産

に推薦する手法をシリアル・ノミネーションといい、この遺産群は日本での初の本格的なシリアル・ノミネーションとして、世界遺産に登録されました。

また、この遺産群には企業が所有し現在も企業活動に使用している稼働資産を含んでおり、稼働中の産業遺産も含むという日本初のもとなりました。

世界遺産登録への10年の取り組み

萩市は平成18年から登録を目指して取り組みを開始。平成20年9月、文化庁が「九州・山口の近代化産業遺産群（当時）」を、世界遺産暫定一覧表への追加記載が適当と発表、10月には、萩市役所に世界遺産推進課を設置。21年10月には、市内の関係団体等とともに、登録を推進する「世界遺産登録推進萩市民会議」が設立されました。その後、平成23年2月の「世界

遺産フォーラムin萩」など、講演会等を定期的に開催し、市民の皆さんとともに、世界遺産登録に向けて機運を高めました。

平成26年1月、近代産業化の過程を証明する一連の資産が世界遺産として価値があるということで、政府がユネスコに推薦書を提出。イコモスによる平成26年夏の現地調査などの審査を経て、5月4日に、世界遺産への登録がふさわしいと、イコモスが世界遺産委員会へ勧告していました。

萩の資産の意義

萩の5つの資産、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾は、全体として、自力による工業化の最初期とその工業化の主体となった地域社会を物語るものとして評価されました。

萩反射炉は試作した金属溶解炉として「製鉄」の分野で、和船の技

萩の世界遺産を訪れる観光客への受け入れ態勢を充実中！

◆小畑地区世界遺産観光シャトル

恵美須ヶ鼻造船所跡は、9月末まで発掘調査が行われており、調査の様子も原則一般公開（平日の午前）されています。近くにある、萩反射炉と併せて見学される方に便利な、無料シャトルバスが運行中です。

■運行期間 平成28年3月27日（日）までの間の土・日曜日、祝日

■運行ルート（停留所） 道の駅萩シーマート、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、小畑地区臨時駐車場（旧漁連跡）の各停留所を巡回運行

■運行時間 午前10時～午後3時30分（萩循環まあるバスの道の駅萩シーマートと発着時刻に合わせ約30分間隔で運行）

■乗車定員 9人（予約不要）

■問い合わせ 萩市観光課（0838・25・3139）

◆萩の産業革命遺産群ガイドマップ（日本語版・英語版）

萩の5つの世界遺産を紹介するガイドマップを、無料配布しています。

■配布場所 萩市役所、萩市観光協会、萩市内の観光施設等

◆「大板山たたら製鉄遺跡インフォメーションセンター」と世界遺産大板山たたら製鉄遺跡乗換バス

福栄紫福地区にある、大板山たたら製鉄遺跡を訪れる前に、まず道の駅ハピネスふくえのインフォメーションセンターに、まずお立ち寄りください。また、現地在大型バス等の通行が困難なため、マイクロバスの乗り換え運行を、ハピネスふくえから、来年3月31日まで行っています。

■ルート 道の駅ハピネスふくえ（乗換場所）と、大板山たたら製鉄遺跡まで往復運行（片道約30分）

■対象 大型バス等を利用し大板山たたら製鉄遺跡を観光する団体

■定員 50人、無料（要予約）

■予約方法等 ご利用の前日の正午までに電話、ファックス、メールのいずれかの方法で予約（土・日曜日、祝日は受付不可）。

■問い合わせ・申込先 萩市福栄総合事務所（0838・52・0121、FAX52・0262、メールfukue_tatara@city.hagi.lg.jp）

◆萩反射炉に遊歩道を設置

萩反射炉は高台にあることから、誰もが見学しやすい環境を整備するため、階段とは別ルートの遊歩道を10月に設置する予定です。

術を使って2隻の西洋式軍艦を建造した恵美須ヶ鼻造船所跡と在来の技術で西洋式軍艦の建造を支えた大板山たたら製鉄遺跡が「造船」分野で、近代化が試行錯誤によって進んでいったことを示しています。

松陰の西洋文明を学ぶ姿勢が門下生に引き継がれ、後に各分野で日本の近代化・工業化の達成に貢献したと考えると、松下村塾が近代化・工業化に果たした役割は大きいがあります。また、近代化・工業化を進めた当時の地域社会での、政治・行政・経済の姿をよく残していることが、萩城跡を含む萩城下町では評価されました。

萩の近代化初期の資産からわずか半世紀で、八幡製鉄所や三菱長崎造船所に見られるように日本の工業は世界のトップレベルに発展していききました。

萩の宝を後世に

「明治日本の産業革命遺産」が登録されたことは、長年市民の皆さんの手で、歴史的な遺産を守って

きたことの大きな成果です。

これにより、萩の魅力が一段と高まり、観光振興にも大きく寄与することなども期待されます。

しかし、それ以上に、この5つの資産や偉業を地域の誇りとして、後世にしっかりと守り、語り継いでいくとともに、保存や活用について市民や萩出身者の方々、関係機関と一緒に取り組んでいきますので、萩ネットワークの会員の皆さんもPRやご案内にご協力をお願いいたします。

問い合わせ

萩市世界文化遺産課

(25)33380



現存する恵美須ヶ鼻造船所跡の石造堤防(見取図では左下部分)



明治日本の産業革命遺産 萩の5資産 シリーズ② 恵美須ヶ鼻造船所跡



丙辰丸(模型)全長25m、藩の主力艦として海軍の練習と国産交易に利用(萩市在住の岡野富士夫さん作、大板山たたら製鉄遺跡インフォメーションセンターで展示)

ロシアとオランダの技術を使って洋式船を建造

恵美須ヶ鼻造船所跡(萩市椿東中小畑)は、萩藩が設けた洋式帆船を建造した造船所の遺跡で、幕末に2隻の西洋式木造帆船を建造しました。

幕末の洋式造船技術導入期の様相を知る上で貴重であるということから、平成25年10月に国指定史跡に指定されました。近くには、国指定史跡萩反射炉があります。

萩藩でも大船建造を決定

徳川幕府は、大名統制のため江戸時代初期に軍艦等の建

丙辰丸と庚申丸の建造

造を禁止する大船建造禁止令を制定しました。しかし、ペリーの黒船が来航した嘉永6年(1853)、幕府は禁止令を解除し、翌年には萩藩に大船の建造を要請。安政2年(1855)に、桂小五郎(木戸孝允)が軍艦建造の意見を藩に提出、これらを受け、翌年には藩主毛利敬親が洋式軍艦を建造することを決定します。

恵美須ヶ鼻造船所の開設

丙辰丸と庚申丸の建造 当時、国内では伊豆半島の戸田村で、来日したロシア海軍のプチャーチン提督の指導のもと、日本人による初の本格的西洋式木造帆船を建造していました。

萩藩は戸田村に船大工棟梁を派遣し、建造に携わった技術者の高崎伝蔵を招へい、安政3年(1856)恵美須ヶ鼻に造

造船所を建設します。ここで同年「丙辰丸」が進水、翌年春に完成します。なお「丙辰丸」の建造に必要な鉄は、同じく構成資産となっている大板山たたら製鉄遺跡から供給されました。

また、海軍練習専用船とするため、2隻目の西洋式帆船「庚申丸」を建造、万延元年(1860)に進水します。庚申丸の建造技術は、丙辰丸とは違い、幕府が軍艦の操縦と建造の技術習得のため設立した長崎海軍伝習所でオランダ人教官が教えた技術が用いられました。

異なる技術による造船を行ったことを今に伝える遺産 このようにロシアとオランダという2つの異なる技術による造船を1つの造船所で行った例は他にないこと、また幕末に建設された帆船の造船所であり、遺構が確認できる造船所であることが評価され構成資産となっています。

造船所見取図「丙辰丸製造沙汰控(山口県文書館)」より作成



明治日本の産業革命遺産と萩

道迫真吾（萩博物館主任学芸員）

萩博物館企画展「明治日本の産業革命遺産と萩」

萩博物館では今秋、世界遺産登録記念企画展「明治日本の産業革命遺産と萩」を開催する。

萩の5つの資産は、1850年代に、萩（長州）藩が自力で工業化に取り組み始めたことを示す具体的な証拠である。萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡は、自力での工業化に取り組み、試行錯誤を重ねた物証だ。また、萩城下町は工業化を推進した政治・経済・文化の拠点として、松下村塾は工学教育の必要を説いた先駆的存在として、それぞれ重要な意味を有している。つまり、幕末に萩という地域社会で工業化への試行錯誤が重ねられたことにより、明治維新後の産業革命が驚くべきスピードで達成されたといっても過言ではないのである。この企画展では、「明治日本の産業革命遺産」における萩の5資産の位置づけを紹介し、幕末の萩（長州）藩が取り組んだ工業化の試行錯誤の段階から、明治政府による

工業化の実現へと至る一連の軌跡を明らかにする。

以下では、企画展がどのような構成となっているかを紹介しよう。

I 19世紀中期の世界と日本

18世紀半ば、イギリスで産業革命が始まった。産業革命の要点は、動力の転換と機械工場の確立にある。かつて人類は、人や動物、自然の力を動力源としていたが、

強大なエネルギーを生み出す蒸気機関の完成により状況が一変した。さらに、複雑な機械を開発して工場を整備したことにより、生産力を飛躍的に向上させた。こうしてイギリスは、19世紀前期に「世界の工場」たる地位を確立する。人類史を書き換えた産業革命（工業化）の源流は、イギリスにあるのだ。

欧米の各国は、世界市場を席巻するイギリスに対抗すべく、次々に産業革命を達成した。なかでも勢力を増したのはフランスとアメリカである。これら欧米列強は、

19世紀半ばに至ると、東アジアに本格的に進出し、植民地や市場の獲得をめぐり対立した。その過程

で天保13年（1842）、アヘン戦争で東アジア最大の国である清（中国）がイギリスに敗れた。嘉永6年（1853）アメリカ使節ペリーが日本に來航し、翌年、日米和親条約が締結された。これらは大局的に見て、欧米で発生した産業革命の波が地球上を覆い尽くす一連の動きを表している。

II 工業化試行錯誤の舞台

アヘン戦争情報は、徳川幕府はもとより諸藩の危機感を高め、海の守り、すなわち海防の強化を進めるうえで大きな転機となった。萩（長州）藩は、中国大陸に近く、

藩領に長い海岸線を有することから、海防を重視した藩の一つである。その後、ペリーが浦賀に來航すると、幕府は、旧来の武備では欧米列強に対抗できないことを

悟り、諸藩に対し海防の強化を要請する。幕府は、二百数十年の長期にわたり、諸藩の武力を抑制してきたが、洋式砲術を奨励したり、

大船の建造を解禁したりと、方針を大きく転換したのだ。

そのような状況で、佐賀藩、薩

摩藩、萩藩などの西南雄藩は、洋式大砲の製造と軍艦の建造に挑戦した。また幕府をはじめ、水戸藩、越前藩などの有力な諸藩も同様に武備の洋式化に努めた。このように幕藩領主は各地で、海防の強化を図るため、軍事面から工業化に取り組んだのである。しかし、この段階では主にオランダから輸入された書物だけが頼りであったため、工業化には困難が伴った。萩城下町は、幕藩領主が工業化初期に試行錯誤を重ねた舞台の典型を示している。

III 製鉄近代化への挑戦

幕末の日本では、海防強化の一環として大砲の洋式化が喫緊の課題とされた。旧来、日本の大砲は青銅製が主流であったが、オランダから長崎にもたらされた1冊の書物を通じて、反射炉を利用した鉄製大砲の製造に注目が集まった。

その蘭書とは、オランダ陸軍の砲兵将校ヒューゲニンが著した『ロイク王立鉄製大砲製造所における製造法』である。

日本で初めて反射炉を導入したのは、佐賀藩である。佐賀藩はヒューゲニンの著書を蘭学者に翻訳させ、嘉永3年（1850）反射炉の建設に取りかかり、嘉永5年に鉄製大砲の製造に成功した。その後、薩摩藩、幕府の伊豆山代官所（静岡県伊豆の国市）、水戸藩などの幕藩領主が反射炉の建設に取り組んだ。また民間でも、安心院（大分県宇佐市）や大多羅（岡山市）などで反射炉が導入された。

そうしたなかで、萩（長州）藩は安政2年（1855）から翌年にかけて、反射炉を試作した。しかし結局は、実用的な反射炉の建設には成功できなかった。試作に終わった萩反射炉は、萩藩が自力



1920年頃の萩反射炉絵はがき（萩博物館蔵）

で製鉄の近代化に挑戦し、試行錯誤を繰り返したことを如実に物語っている。

IV 造船近代化への挑戦

洋式大砲とともに、海防強化に必要とされたのは軍艦である。江戸時代の大型船といえは、将軍や大名が乗る御座船を除いては、千石船と呼ばれる商用の木造船しかなかった。しかしペリー来航後、幕府は、産業革命の結晶たる蒸気船が眼前に現れたことで危機感を強め、諸藩に対して大船の建造を解禁する。これを受けて諸藩は、競い合うように軍艦建造に挑戦し始めた。

萩（長州）藩は、安政3年（1856）に軍艦の建造を決定し、ロシア式の技術を用いて丙辰丸を建造した。ついで万延元年（1860）、オランダ式の技術を用いて庚申丸を建造した。ただし、萩藩で建造された2隻の軍艦は、洋式とはいえず木造船であり、工業の基盤がない条件下で蒸気船を建造することは不可能であった。恵美須ヶ鼻造船所跡は、萩藩が造船

の近代化に挑戦し、試行錯誤を重ねたことを示している。

その一方、丙辰丸の建造に際し、釘や碇などの鉄材が大板山たたら製鉄遺跡から供給されたことを見逃してはならない。萩藩の軍艦建造は、旧来の船大工やたたら製鉄など、伝統的な技術との融合によって実現されたのである。

V 工学教育の先駆者

吉田松陰

ペリーは、いわば産業革命の使者として、「鎖国」日本の扉を外側からこじ開けることに成功した。これに対し、「五大州を周遊せんと欲す」と世界に目を向け、「鎖国」の殻を内側から破ろうとしたのが兵学者吉田松陰である。松陰のアメリカへの密航は失敗に終わったが、ペリーは、松陰とその同志金子重之助が示した激しい好奇心に目を見張った。ペリーは、日本の将来は夢と希望に満ちあふれていると絶賛し、二人の命が助かることを願ってやまなかったのだ。

松陰は、欧米列強がなぜ強大な軍事力をもつに至ったかを研究し、技術者の育成こそが重要だと結論を得る。そのうえで、国の振興のためには学校に作業場を付設し、藩士以外の職人たちにも門戸を開くことが必要だと論じた。松陰は、わが国において工学教育を提唱した先駆者と位置づけることができる。

VI 明治の工業化と

「長州ファイブ」たち

万延元年（1860）以降、幕府は欧米へ使節団や留学生を派遣するようになった。その一方、萩（長州）藩は文久3年（1863）、5名の若者をイギリスに密航させた。5名には、吉田松陰が主宰した松下村塾の門人伊藤博文や、直接の門人ではないが伊藤との親交が深かった井上馨と山尾庸三が含まれる。国禁を破って渡英した彼

ら「長州ファイブ」は、産業革命を体験することのできた稀有な存在であった。彼らは、欧米列強の軍事力の後背にある工業力を肌で感じ、祖国日本の行末を案じて、工業化の必要性に目覚めたのだ。

明治維新後、伊藤と山尾は工部省の設立に尽力する。工部省は、鉱山・製鉄・灯台・鉄道・電信などの近代国家建設に不可欠の部門を統括した。さらに山尾は、工部学校の設立を建白し、工学寮のちの工部大学の開校に力を発揮

した。工部大学校は、松陰が提唱した「工学教育」を具現化したものともいえる。

明治政府は、欧米列強に対峙するため急速な工業化政策を推進した。急速すぎるあまり、国内外で多大の犠牲を払いつつも、日本は欧米以外で最初の工業国となったのである。

（世界遺産登録記念企画展「明治日本の産業革命遺産と萩」については、16ページを参照ください）

図録「吉田松陰の手紙」・萩博物館所蔵杉家寄贈資料

萩博物館特設展示「兄松陰と妹文・杉家の家族愛」(平成28年9月4日まで)でも展示される、杉家から寄贈された松陰の直筆手紙59通を紹介する図録が制作されました。

ど、彼の多様な側面をうかがい知ることのできる貴重な証言といえます。

家族に送った松陰の手紙を読むと、喜怒哀楽を包み隠すことのない、感情豊かな彼の内面がよく伝わってきます。ある時は萩の方言交じりで、またある時は冗談を交えながら、思いのたけをぶつけています。筆でつづられた手紙は、まさに松陰の生きた証であり、等身大の彼の姿を今日に蘇らせます。

▽B5版、80ページ
▽内容 図版(カラー)、手紙の解説と訳文(意識・抄訳)、論考

松陰が試行錯誤した生涯を如実に物語るもので、兵学者、教育者、思想家、志士、革命家な

▽価格 1000円(税込)
▽販売所 萩博物館(配送可)
■問い合わせ
萩博物館
(0838・25・6447)

松陰が試行錯誤した生涯を如実に物語るもので、兵学者、教育者、思想家、志士、革命家な



★2名様にプレゼント(応募方法は15ページ)



明治日本の産業革命遺産と萩
2015年9月19日(土)~11月29日(日) 萩博物館
世界遺産登録記念企画展



工部大学校の古写真(萩博物館蔵)

農事組合法人むつみ代表

山田和男さん

かずお

(萩市在住、57歳)



るみで農業を行う営農組合を設立。その後、3集落を統括し、法人化しました。当初は、約55ha(約3000枚)から始まりましたが、現在は、隣接集落も加わり、約70ha(約4000枚)の水田を管理しています。組合員も31人に増え、その半数が専業で作業しており、兼業の組合員は土日を利用して営農に取り組んでいます。

安心して安全な米づくり

現在は、「コシヒカリ」を中心に、「あきまつり」や「ヒノヒカリ」などを栽培。エコファーマーの認定はもちろん、コシヒカリについては、化学肥料と化学農薬の使用を県の基準の50%以下に削減し、「エコやまぐち農産物」の認証を受けています。

自分たちで責任を持って売る

いい山水が流れ、昼と夜の気温差が11度以上あるため、甘みや粘り気のある美味しい米を収穫することができず。日本一美味しいと称される「魚沼産コシヒカリ」が生産される気候条件に似ており、その味は、そんな色のないものだと思われ、自信を持っています。

栽培したコシヒカリの3分の1はJAへ出荷し、残りは、主に山陽方面で展開しているスーパー16店舗で販売しています。コストを抑えるために売り場のみを借りて、週に1回、販売担当の組合員がスーパーに出向きます。最も美味しい状態の米を提供できるように、その都度、精米した商品を納入して陳列し、1カ月経ったら回収するよう品質管理も徹底しています。また、販売価格も自分たちで決めており、米の価格が下がっている中、5kg1880円(税別)と少し高めですが、健康志向のご家庭や味にこだわりの持つ方々を中心にご購入いただいています。

売れるように付加価値を付けて自分たちで販売していかねければ生き残っていけないと考えています。**後継者の育成**
今後は、更なる化学肥料や農薬の削減を目指し、安全で安心な米作りを追究していきたいですね。また、若い後継者の育成にも取り組んでいかなければなりません。現在、組合員の平均年齢は61歳。30代の組合員は3人いますが、うち1人は平日の仕事を持っていません。冬場は仕事が少なくなるため、若い組合員を周年雇用できるように、現在、2月に収穫を迎える芍薬や当帰といった薬草栽培を試みているところです。

他にも、農作物のハウス栽培や加工品販売などの挑戦も視野に、若者たちが一年を通して働くことができ、福利厚生などの環境も整えることができたらと思っています。

■農事組合法人むつみ

住所：萩市大字吉部下4099

1

☎083888・60370

県内でも有数の優良米産地であるむつみ地域。設立当時、萩市で初めて農事組合法人を立ち上げ、生産者自らが販売まで行っている農事組合法人むつみの代表・山田和男さんにお話を伺いました。

集落で助け合いながら営農を

農事組合法人むつみは、平成19年、三戸原・麻生・鍛冶屋集落の農家19名で設立しました。

私たちの世代は、20代後半から30代にかけてUターンした者が多く、自分たちが所有する水田以外

にも、集落の高齢化に伴い、後継者がいない方の水田も請け負って農業をしていた者も珍しくありませんでした。ほとんどが兼業農家でありながらも、5haを超える水田を個人で管理していた者も多く、私自身も約15haの水田で米を栽培していました。

しかし、日本人の食生活の変化に伴い、米の価格は下がる一方、高額なトラクターなどへの投資も大変なもので、個人では、体力的にも経済的にも限界を感じるようになりまし。そこで、共同購入した機械や施設を利用し、集落ぐ

化学肥料などを多く使用すれば生産量は安定しますが、コメの食味が落ちてしまします。そのため、私たちは地元の養豚場から堆肥を仕入れて、しっかりと土づくりをし、もみ殻や米ぬかといった昔ながらの有機肥料を使用することで、可能な限り、化学肥料等を使用しないように手間暇をかけて農業を行っています。その甲斐あり、ミミズやドジョウなどが多く生息する豊かな土づくりが実現できました。

こういった努力に加えて、中間部に位置するむつみ地域は、美

生産から販売まで一貫して行うことで、お店の方やお客様からの声も直接聞くことができるので、私たちも、より一層、責任感を持って米作りに取り組みことができます。法人化したからには、一





守田洗張店

もりた かずあき
守田 一昭 さん (42歳)

きました。そして、27歳の時、京都での8年間の修業を終えて萩へ帰郷しました。

じっくりと丁寧な手作業で

帰郷してからは家業に入り、両親と共に仕事をしています。最近では、個人のお客様から着物をお預かりすることが多く、丸洗いやしみ抜きといったお手入れ、寸法直しなどのご依頼・ご相談が増えています。長年、着物をタンスに閉まったままだと湿気を吸い、カビが発生したり、シミができてきたりします。お宮参りの産着や振袖などにできてしまった古いシミを何とかできないかといったご相談は非常に多いですね。

着物に関する相談相手に

京都にいたころは、朝から晩まで仕事に追われる毎日でした。もちろん、その着物を着られるお客様と顔を合わせることはありません。ですが、帰郷してからは、直接、お客様からご相談を受け、その着物への思いに触れることも多く、お預かりした着物一点一点とじっくり向き合って仕事をさせていただいています。納品後、お客様の喜ぶお顔を見ることができ、環境には感謝をしていますね。

今後も、お客様のお気に入りの着物、タンスに閉まっていて古くなってしまった着物など、少しでも多くのお客様の着物に関する相談相手になれたらと思っています。

■守田洗張店

住所：萩市平安古町57番地
☎0838・22・6130

「和服専門のクリーニング店」として親しまれている守田洗張店。着物を解いて洗う「洗い張り」や、蒸気を当てながら小じわを伸ばして巾を整える「湯のし」、袖の糊を落として風合いを出す「湯通し」など、昔ながらの手入れはもちろん、丸洗いやしみ抜きといった着物の加工・補正を行っている。萩市では、おそらく唯一となる洗張店の代表・守田一昭さんにお話を伺いました。

祖父の代から始まった洗張店

当店は、昭和初期に、祖父が染物と洗い張りの店として創業した「守田染物店」が始まりで、父に代替わりしてから、現在の屋号と

なりました。クリーニング店での修業経験があった父は、着物の丸洗いやしみ抜きなども行うようになりましたが、当時は景気も良く、着物もよく売れていた時代でしたので、呉服店からの依頼を受けて、お客様が購入された仕立てる前の反物をお預かりし、湯のしをして反物の状態を整えるのが当店の主な仕事でした。

ですが、そういった商売が、私の代でもできるのかどうかという思いは父にもあったようで、私自身は、萩工業高校卒業後、京都の染色補正業の会社に就職し、修行することとなりました。

本場・京都での修行

京都は着物の産地ですから、全

国で売れた反物が問屋のある京都に一旦戻ってくるため、仕立て前の湯のし作業を始め、展示販売していたことにより日焼けしてしまったり反物の染め直しやしみ抜きといった着物を補正する仕事を経験しました。また、金彩加工された反物を修復する仕事も経験し、実際に、金彩を施した染め屋の職人の方から修復方法を教えてもらうなど、着物を制作する現場や職人の方々の仕事も直に見ることもできました。

中でも、長く担当していたのはしみ抜きです。修行のために萩から京都へ来ていたということもあり、会社のほうも、私の将来を配慮してくれていたようで、古いシミを抜く仕事は多く任せていた

住みたいね 萩!

ふるさとで働くトーフレオメガフレックスの皆さん



【左から】堀敬さん、川畑孝宏さん、深水唯花さん、梅野嵩大さん、古谷寿男さん

「萩が好き」と話す
深水唯花さん



いました。

【深水唯花さん・18歳・樺東出身】

今年の3月に萩商工高校を卒業しました。萩の落ち着いたところや、自然豊かなところが好きで、地元で就職したいと思い、先生や家族に勧められて弊社に就職しました。地元で働くことができ家族も喜んでくれています。

地元萩での暮らしはいかがですか

【堀敬さん・23歳・大井出身】

私は、萩商工高校、至誠館大学を卒業し、就職にあたり家族からは市外就職を勧められましたが、私自身が、萩、大井が大好きで、工場新設をチャンスと思い今春入社しました。休日は趣味の釣りや会社の野球チームに参加して楽しく過ごしています。携帯電話の修理が地元でできないなど不便があるのが少し残念ですが、なんといっても、魚が美味しいのが萩の魅力です。ただ、地元に残った同級生などの友人が少ないので、一

人でも多く萩に帰って来て欲しいです。市外就職をと言っていた家族も、今では内心うれしく思っているはずですよ。

【梅野嵩大さん・23歳・細工町出身】

萩高校、帝京大学を卒業し入社しました。学生時代を東京で過ごしたのですが、県内就職を希望していたので、親戚から新しく進出した会社があると紹介され、めでたく萩に帰ることができました。余暇は中学・高校時代の先輩・同級生とバスケットボールをするなどしています。都会とちがって、近所の方々との情もつながっていて、落ち着いた生活ができるのが良いです。

【川畑さん】私は結婚しているのですが、普段の生活ではあまり支障を感じていません。ただ、後輩社員の立場からみると、地域のサークル活動や出合いの場などの情報が若い社員に伝わる仕組みなどがあると良いですね。滋賀では盛んだったのですが、堀や梅野たちのために「街コン(※)」を萩でも開催してやって欲しいです(笑)。

今後の抱負などを

【古谷さん】子どもが生まれたばかりで目下、子育てが趣味です。自然の豊かな場所で子育てができるのは魅力です。一人でも多くの若い皆さんに萩に残って欲しいです。もちろん、会社の仲間も増

えて欲しいです。「最近の若い者は・・・」と言われたいようしつかり鍛えます(笑)。働く場があることで、若い人も増え、子どもも増え、お店などの施設も充実する。こうした循環を皆さんとつくって、いつしよに地域を盛り上げたいです。

【川畑さん】会社、工場の成長のために全力を尽くしていきたいです。萩工場はもつと成長する余地があります。工場が成長すれば、雇用が生まれ、萩の人が増え、萩が元気になります。会社の成長に貢献することで地域、ふるさと萩に貢献したいです。

※街コン：街ぐるみで行われる「男女の出合いの場づくり」と「地域活性化」を兼ねたイベント。

■問い合わせ

▽トーフレオメガフレックス株式会社

住所：萩市川上白上886・1

☎0838・54・5060(管理グループ)

▽萩への移住・定住

萩市企画政策課内定住総合窓口

☎0838・25・3819

▽企業誘致

萩市商工振興課

☎0838・25・3811

トーフレさんに就職されたきっかけは

【川畑孝宏さん・26歳・樺西出身】

私は、平成19年に萩商業高校を

平成24年から萩市が企業誘致を進め、昨年の6月から川上地域で新工場が稼動したトーフレオメガフレックス株式会社には、現在115名の社員が勤務されています。そこで、今回はトーフレオメガフレックス株式会社の若手社員の方々に、「地元」萩での暮らしなどについて伺いました。

卒業し、当時は関西方面に出たいと思っていたので、母校とのゆかりや待遇面などを考慮し、就職しました。萩工場ができるまでは、滋賀工場で勤務していました。

【古谷寿男さん・27歳・大井出身】

私も平成19年に萩工業高校を卒業して、萩に残りたいと考えていましたが、雇用がなく、野球部の先輩もいた弊社に就職し、工場の稼動に伴い滋賀工場からこちらに移ってまいりました。同じく野球をしていた関係で、高校時代から同期の川畑のことは良く知って

ロンドンで奮闘中の 田村佳代子さん



萩市職員である私は、2013年4月から全国の自治体の共同組織である一般財団法人自治体国際化協会に派遣され、1年間の東京本部勤務後、昨年4月からロンドン事務所に勤務し、主に、日本の自治体の欧州での活動を支援する仕事をしています。

ロンドンでの生活が2年目となる今年、欧州は熱波の影響で記録的な暑さとなりましたが、そんな暑さもあつという間に過ぎ去り、最近では肌寒い日が続いています。短いロンドンの夏はすっかり終わったようです。

NEW長州ファイブに同行して

そんな今年の夏、萩市から2組の2015年版「長州ファイブ」が渡英しました。1組は、10年前から実施している「長州ファイブジュニア」英国語学研修事業で派遣された中学生5人、もう1組は高校生5人。この高校生5人を送

り出した萩市の事業に同行したので、今回は、その様子を紹介します。日本人として海外留学の先駆けとなり、日本の近代化に大きく貢献した長州ファイブが、1863年に渡英してから2年後、薩摩藩も留学生を英国に派遣しました。

彼らが留学したユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）では、2013年から「日英学術交流150周年記念事業」として長州ファイブ関連の記念事業をはじめ、彼らの偉業を称えるさまざまなイベントを開催してきました。その事業の集大成として、今夏、日英の高校生を対象とした「UCL Japan ヤングチャレンジ」が行われました。このイベントの開催にあたり、UCLとゆかりのある地域や学校が招待され、萩市では市内の高校生5人（※）を派遣することとなりました。

5人は、7月21日から28日までの期間中、UCLやケンブリッジ

大学の寮に宿泊し、世界でトップクラスにランキングされている英国の大学で、大学教授などから実際の研究内容について英語で講義を受け、学内の食堂で食事をし、その雰囲気を感じながら、英国での教育を体験しました。驚いたことに、この期間中の講師やサポートは全てボランティアで、さらにそのボランティアの方々は大の教授や講師、院生であるため、高校生達は気軽に、世界の最先端で研究を行っている研究者の方々と交流ができるという素晴らしい環境でした。

7月23日に開催された今回のメインイベントであるシンポジウムには、萩市の5人を含む日本側からの約70人と、ロンドンの高校から集まった英国側の約30人の総勢100人の学生が参加し、「異文化交流」をテーマに、日英の文化比較や世界の今後について、意見交換し、グループごとに発表しました。

イベント後には、UCL学長、在英日本国特命全権公使など日英の関係者約200人が出席する薩摩スチューデント渡英150周年記念式典に参加しました。式典では、学長や来賓のスピーチ内の随所で、日本人として初めて英国に留学した長州ファイブの功績について触れられ、参加した萩市の高校生達の顔はとても誇らしげでした。式

典後には、萩市の5人と鹿児島島の19人が「NEW長州ファイブ、NEW薩摩スチューデント」として壇上で紹介され、代表で萩市から参加した萩高校3年の波田真優さんが「長州ファイブの故郷である萩市に生まれ育ち、その市を代表し英国に派遣された経験を生かし、私達の世代での長州ファイブとなるよう頑張りたい」と挨拶をすると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

充実した研修を終え、ファイナルレモニーでは、参加者一人ひとりが、スピーチをしました。萩市の5人も感謝の言葉とともに「初めての海外だったが世界が身近に感じられた」「英語の力をつけてまた英国に戻ってきたい」など、研修を振り返った感想やこれからの抱負を述べました。あつという間の1週間でしたが、高校生達にとっては一生忘れることのできない貴重な経験になったと思います。この研修で学んだことやたくさん

の出会いはいきつと今後の彼らの人生に大いに生かされ、今後の日本や世界をリードする人材となってくれることと信じています。



派遣高校生を代表してスピーチする波田真優さん(萩高校3年)

■田村佳代子(萩市職員)

萩市が、グローバルな視点での政策立案能力を有する職員を育成するため平成25年4月から自治体国際化協会(CLAIR)に派遣。

平成26年4月からCLAIRロンドン事務所に駐在。

萩市の国際化に貢献したい

私のロンドンでの勤務も残すところ、後半年ばかりとなりました。ここでは、毎日が異文化との交流で、日本では得難い経験ばかりです。また、昨秋のスコットランド独立住民投票、今春の英国総選挙、そして、今秋のラグビーワールドカップ2015など日本でも話題の出来事を間近で見聞することもでき、さらに、欧州で活躍する山口県ゆかりの方々との出会いもありました。これらの様々な経験や多くの出会いを通じて培った知識や人脈を活かし、萩市へ帰任後は、私なりの萩市への貢献ができればと思っています。

※萩市から今夏UCLに派遣された高校生は、「波田真優さん(萩高校3年)、恩村悠河さん、舟戸陽介さん、楊井威信さん(以上萩高校2年)、村岡吾朗さん(萩光塩高校1年)の5人。

豪雨災害から2年

平成25年7月28日に萩市東部地域を襲った集中豪雨災害から、2年が経過。地域の皆さんが住み慣れた場所でも、安心して生活ができるよう、早期の復旧・復興に取り組んでいます。

2年の節目を迎えた7月28日、小川地区の復興のシンボルである小川交流センター「みのり」の竣工式と「萩市民防災の日」の式典と防災講演会が開催されました。市民の皆さんと力を合わせた、一日も早い復旧・復興への機運を高めています。

復興のシンボル 小川交流センター「みのり」竣工

7月28日、小川地区の皆さんや関係者約120人が出席して、小川交流センター「みのり」の竣工式が行われました。



小川交流センター「みのり」の竣工式(友信神楽舞の披露)

当日は、小川地区の小学生や保育園児らによるくす玉割や関係者のテープカットなどの後、地元「ロス・アミーゴス田万川」のフラメンコ披露や「友信神楽保存会」による神楽舞披露、餅まきで完成を祝いました。

濁流に襲われた小川地区

田万川地域を襲った豪雨は、午前10時頃からの約4時間という短時間でしたが、田万川上流の千足雨量観測所(上小川西分)では総雨量378mmを観測。田万川の水位も、下小川で7・15mを記録するなど、すさまじいものでした。

午後1時頃には、原中川と田万川に囲まれた一帯が濁流にのまれ、小川コミュニティセンター(小川支所・小川公民館)も大きな被害を受けました。

なお、須佐地区では正午の1時間雨量が138・5mmと観測史上最大の雨量を記録しています。

地区の新たな交流拠点として

小川コミュニティセンターは、移転新築により、萩市小川交流センターとして生まれ変わり、これまでと同じく、支所と公民館の機能に、被災した田万川方面第2分団の消防器庫も加えた複合施設。また、緊急避難場所の機能も備えるため、安全性に配慮し、元の場所から南に約300m移転し、約3mかさ上げして建設しました。

愛称の「みのり」は、地域の資源を活用した人々の交流が「実り」があるようにという願いを込めて、田村馨君(小川小学校3年)が命名。これから、地区の復興のシンボルとして、コミュニティの交流がさらに進むような拠点となることが期待されます。

災害復旧工事の進捗状況

萩市が管理する河川や道路、農地・農業用施設など、国・県の補助事業となる災害復旧工事についてはすべての発注を終え、平成27年7月末時点で公共土木施設84・8%、農地・農業用施設75・3%が完了しています。今後は、県管理の須佐川・田万川などの河川改修事業等に関連する工事を除いて、平成27年度中の完了を目指して復旧工事を進めています。

問い合わせ

萩市災害復興局 (08387・6・2214)

集中豪雨災害の教訓を後世に記録誌を発行

萩市東部集中豪雨災害の教訓や体験を後世に伝えていくための記録誌「2013. 7. 28 萩市東部集中豪雨災害の記録」を市が作成しました。

被害の状況や体験談、復興に向けた取り組みなどを掲載しています。

■A4版、全56ページ、フルカラー(構成)第1章 災害の概要、第2章 被災から復旧・復興に向けた対応、第3章 後世への伝承
■価格(税込)資料編付(DVD付)800円、資料編なし500円

■販売部数 250部(平成28年1月29日まで販売、部数がなくなり次第販売終了)

■販売場所 萩市役所広報課、各総合事務所・支所
※生活再建支援事業部で配送可(別途送料が必要)。萩市ホームページで購入方法をご確認ください。

■問い合わせ
萩市災害復興局生活再建支援事業部 (08387・6・2213)



萩市シテイセールスin東京を開催

8月6日、ホテル椿山荘東京で、萩市の産業、特産品、歴史、文化、豊かな自然などの魅力を全国に広くPRする「萩市シテイセールスin東京」が、200人を超える参加者を迎え盛況に開催されました。

第一部のセミナーでは、野村

萩市長と萩市観光協会の松村会長が萩市の魅力を伝えるプレゼンテーションを行いました。第二部の交流会では、萩ふるさと大使の狂言師和泉元彌さんから世界遺産登録を祝う祝言小謡を披露。その後、地元の食材を使った料理や地酒などで萩を丸ごと

PRしました。

萩市の魅力をより知ってもらうことで、企業誘致や観光誘客、移住促進などのきっかけ作りになりました。

問い合わせ

萩市商工振興課 (08388・25・3811)



萩の魅力を紹介する野村萩市長

阿武川ダム

完成から40年

阿武川ダムは、昭和42年度から山口県の世紀の大事業として本格的な建設工事が開始され、昭和50年3月に、当時県営ダムとしては日本一の規模を誇る重力アーチ式コンクリートダムとして完成しました。

阿武川は、流域に対して多くの恵みをもたらした反面、ダムの完成までは、度重なる氾濫により大きな被害をもたらしたこともあり、藩政期からその治水は大きな課題でした。



大な被害をもたらした洪水や深刻な水不足などの課題は解消しました。しかし、これに伴い、川上地域では6集落（高瀬・藤蔵・大藤・一の谷・出合・木津原）、福栄地域では3集落（清宗・仮館・佐々連）の計9集落204戸の方々が、父祖伝来の地を離れることを余儀なくされました。

移転された多くの方々に感謝

そこで、阿武川ダムの完成から40年の節目に当たる今年、地元では実行委員会を組織し、現在の安心な暮らしには移転された多くの方々の苦勞や協力があつたことを忘れることなく後世に継承していくため、10月下旬から11月にかけて、「記念講演会」や「里帰り懇談会」、「写真展」などの様々な記念事業を企画されています。

今、改めて、ダムの完成に移転・協力された皆さんに、深甚なる敬意と感謝の気持ちを捧げたいものです。

記念事業への問い合わせ

阿武川ダム完成40周年記念事業実行委員会事務局（萩市川上総合事務所地域振興部門内）
0838・54・2121



旧高瀬小・中学校の記念碑「望郷之碑」など

村田蒲鉾店が関東に初出店

昔ながらの製法と新鮮な素材にこだわる萩市椿東の村田蒲鉾店が、7月31日にオープンした神奈川県川崎駅前地下街のDELICHIKAへ出店しました。

DELICHIKAは、川崎アゼリアの第1期リニューアル区画として、総面積の1/3に相当する1000坪強におよぶ大規模食物販ゾーンとしてオープンしたものです。「デリシヤスな地下」という

YouTubeで萩の観光情報を発信!

北浦の地域情報を月2回発行している「北浦うえぶ」と萩市観光協会がタッグを組んで、インターネットの動画配信サイトYouTubeで、萩の観光情報の配信が始まりました。

タイトルは、「週刊萩観光案内」。YouTubeをよく見ている若い方をターゲットに、基本週1回のペースで、萩市観光協会の職員の掛け合いなどで、萩の観光情報を「おもしろおかしく」紹介しています。インターネット動画という新

しい観光PRを一度ぜひ視聴してはいかがでしょう。か。「視聴方法」やフーやゲで、「週刊萩観光案内」と検索。

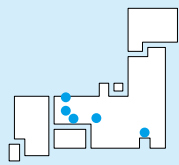


1回目では世界遺産登録を紹介

DELICHIKA

- 株式会社 村田蒲鉾店
住所：萩市椿東1046-1
☎0838・22・0877
- 村田蒲鉾総本店
住所：萩市椿東1041-1
☎0838・22・0877
- 村田蒲鉾店 川崎アゼリア店
住所：神奈川県川崎市川崎区駅前本町26番地2-1031
☎044・201・9141

同窓会だより



情報
ください
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿

8月14日 萩本陣(萩市)

萩高26期(昭和49年卒)還暦同窓会



平成元年(1989)八八会の引受期に集まりましたが、卒業の昭和49年(1980)以来、35年ぶりの同窓会となりました。卒業時の同期生は361人で、当日の出席は94人、出席率33%、3人に1人の出席でした。

私たちが卒業した翌年に山陽新幹線が博多まで開通、萩市の観光客数がピークを迎え(大半の卒業生は市外)、今年はそれ以来の人出と聞きます。「今年は萩に新しい風が吹いてきているようで、萩にゆかりがあることを誇りに思います」とのメッセージも。

世話人 藤田茂樹・嶋村理郎・藤山妙子・山本章三

会員投稿

7月19日(東京都新宿区)

萩高校32期 東京地区同期会



毎年初夏に開催している同期会に11人が集まり、お互いの近況を報告しながら、楽しいひと時を過ごしました。

また、「萩が世界遺産へ無事登録できたね」と、みんなで祝杯も上げました。

今年三重県、岡山県、山口市在住の同級生が、東京出張のついでに参加してくれました。

山根修二(神奈川県厚木市)

会員投稿

やまなみ

関西山峡会総会

6月28日 太閤園(大阪市都島区)



第27回目の総会と懇親会を迎えた「関西山峡会」(青水勉会長)。

来賓として、山口県大阪営業本部長 西田隆男様、萩市議会議長 横山秀二様、同市広報課長 古谷勝義様、関西山口県同郷会幹事長 安田紘一郎様、旭サンファーム代表 河村昭正様、関西山口県同郷会スポーツ支援委員長 山本孝徳様ら64名(過去最多)が楽しく集いました。総会は、青水会長の開会の挨拶から始まり、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉や大河

ドラマ「花燃ゆ」がこれからますます面白くなることなどのPRのお話を頂きました。第二部懇親会は、昨年に引き続き演歌歌手の「大倉弓季さん」の演出、カラオケ大会と抽選会で盛り上がり、最後に参加者全員で「ふるさと」を合唱、万歳三唱し来年も元気な再会を誓いました。

堀野克麿

会員投稿

8月16日

明木中学校同窓会総会

旭マルチメディアセンターほか(萩市)



昭和22年卒業の1期生より平成26年卒業の68期までの同窓生360名が出席し盛大に開催されました。

来年(平成28年度)から校名も旭中学校と改名され「小中併設校」となるため、思い出の校舎見学者も多く、なごり

惜しげにカメラに収める人も多く見受けられました。

懇親会場は懐かしい同級生や恩師先生とのつもる話でもちきりだったようです。次の再会を約束して全国各地に帰られました。

Y・O

萩光塩学院同窓会総会



同窓会でしかお会いできない方々との交流を楽しみに毎年参加させていただいております。今年は引受期であったため準備等がありましたが、事務局をはじめ多くの方々のご協力で無事同窓会を終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。来年も皆さまにお会いすることを楽しみにしております。

津田三佳 (萩市)

指月中学校 昭和36年度卒業古希の会



「今を楽しく。人生ケ・セラ・セラ」をキーワードに、萩市堀内のリゾートホテル美萩で古希の会を開きました。真夏にも関わらず、約3割、31人が一堂に会しました。55年振り、戦後70年目。当時、正田美智子さんの婚約発表やケネディ暗殺のニュースが飛び込む。

あの笑顔、あの所作、あの光景。既に亡くなった玉井・豊田・中村先生、また仲間の冥福を祈りました。残された大切な時間を楽しく。エピソード、近況報告など思い出を語り、旧交を温めました。

清水明人 (萩市)

広島指月会

7月11日

ホテルセンチュリー21(広島市南区)



節目の20回目の開催に37人が出席。会長の西村不可止さん(昭和39年卒)が、20年を振り返った開催実績と参加者からの寄稿による「広島指月会20周年記念誌」の発行・配付を報告されるとともに、「昨年の広島、一昨年の萩市と災害が続く、今年は被害がないことを願う」とあいさつ。村田指月会会長からは、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録や「花燃ゆ」の放送で観光客で湧く萩市の現状を紹介。また、今年4月に萩高に赴任された西村校長からは、「萩高の伝統の重さを感じ、日本の将来を担う人材育成を目指している」とあいさつ。

懇親会は、広島のエリザベート音大生の歌やクラリネット演奏のミニコンサートで始まり、副会長の小野敦仁さん(昭和47年卒)の軽妙な司会で笑いが絶えず進行し、最後は全員での校歌斉唱で締めくくりました。

萩高校同窓会総会・八八会

8月8日 萩高校体育館(萩市)



「萩高校の歴史、八・八会の歴史、人と人」を繋げるという思いを込めて、今年のテーマは「繋げる」にしました。

今年は、萩市が大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台となり、さらに「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されるという嬉しい話題と旧友との再会に、会場の熱気は最高潮に達しました。この日のために、全国から引受期52期の総勢76名が集結し、来場者を迎えました。

今後も、52期は八・八会を次の世代へ繋げていくよう協力していきます。

つばき会山口支部

6月27日

ホテルかめ福(山口市)

今春着任された末廣栄校長、本部同窓会の池田誠次会長も駆けつけられ35人が出席。母校の近況を末廣校長が紹介され、アトラクションやカラオケ大会などもあって大いに盛り上がりました。

最後は、昭和20年卒業(商業)の松原定さんの締めにより、母校の発展とまたの再会を期して散会しました。



情報アラカルト

東北地区

■岡田裕 作陶展

9月30日(水)～10月12日(月・祝)
福島県福島市松川町沼袋北原88-2
おおつき画廊
(024・567・6033)

関東地区

■東京指月会

関東地区の萩高同窓会。

10月24日(土) 午後2時30分～
東京都千代田区丸の内(東京駅丸の内北口) 日本工業倶楽部
(090・7264・6954) 三浦

■つばき会関東支部総会

関東地区の萩商工高同窓会。
11月14日(土) 午後2時～5時
東京都品川区大崎(大崎駅東口)
ニューオータニイン東京
(03・3373・4020) 野村

■東京須佐弥富会

関東地区の須佐地域同郷会。
11月14日(土) 正午～午後3時
東京都港区高輪(品川駅高輪口)
日立金属 高輪和彊館
(090・2208・5873) 勝山

■NHK大河ドラマ「花燃ゆ」前橋展

9月6日(日) まで
群馬県前橋市千代田町5・1・16
アーツ前橋

(027・230・1144)
■三輪和彦「淵淵に集つ」
9月9日(水)～15日(火)
東京都豊島区南池袋1・28・1
西武池袋本店アート・フォーラム
(03・5949・5276)

■第23回日本陶芸展 茨城展

岡田泰、岡田裕、玉村信一、止原理美、渋谷真一の作品が展示されます。
10月3日(土)～12月6日(日)
茨城県笠間市笠間2345
茨城県陶芸美術館
(0296・70・0011)

■鎌倉市姉妹都市(萩市、上田市、足利市、鎌倉市) 物産展

萩の蒲鉾、海産物、夏みかん製品等が販売されます。
10月9日(金) 午前9時30分～午後4時30分、10日(土) 午前9時30分～午後3時30分
鎌倉市小町1・10・5
鎌倉生涯学習センター

■萩の陶芸三人展

松尾優子、止原理美、坂倉善右衛門(長門市) による展示会です。
10月21日(水)～27日(火) 午前10時30分～午後6時30分
東京都文京区関口2・10・8
ホテル椿山荘東京3階アートギャラリー(03・3943・1111)

■萩物産フェア

萩の特産品が販売されます。
10月21日(水)～23日(金) 午前10時～午後7時
東京都中央区日本橋2・3・4
おいでませ山口館
(03・3231・1863)

■萩世田谷幕末維新祭り

萩・世田谷幕末維新祭り、萩観光物産展が開催され、萩の夏みかん菓子、萩焼、地酒、海産物等が販売されます。
10月24日(土)、25日(日) 午前10時～午後6時(25日は5時30分まで)
東京都世田谷区 松陰神社入口若林公園前
(0838・25・3333)

■岡田泰 作陶展

11月22日(日)～29日(日)
東京都新宿区新宿3・37・11
安与ビル地下2階柿傳ギャラリー
(03・3352・5118)

北信越地区

■水津和之 作陶展

萩焼の展示、販売が行われます。
9月1日(火)～7日(月)
新潟市中央区西堀通5番町866番地 新潟三越6階工芸サロン
(025・227・1111)

関西地区

■線描画 田村覚志 個展

7月にパリで開催の「Japan expo」

に出品された田村覚志の個展。
9月5日(土)～13日(日)
京都市中京区寺町通夷川上ル西側久遠院前町671・1寺町エースビル1F西
Gallery 1 (ギャラリーアイ)
(075・200・3655)

中国地区

■つばき会広島支部総会

広島地区の萩商工高同窓会。
9月12日(土) 午後6時30分～9時
広島市南区金屋町1・17
ワークピア広島(旧広島労働会館)
(082・285・0874) 土佐岡

■第3回日本陶芸美術協会選抜展 広島福屋展

岡田裕、岡田泰の作品が展示されます。
10月1日(木)～7日(水)
広島県広島市中区胡町6・26 広島・福屋八丁堀本店7階 美術画廊・ギャラリー101
(082・426・6111)

山口県関係

■山口指月会

山口地区の萩高同窓会。
10月18日(日) 午後6時～
山口市湯田温泉 翠山荘
(083・933・4015) 中原

■腕前探訪「技あり!やまぐち」

県内在住のさまざまなジャンル
の作り手の作品の展示会で、コラ

大河ドラマ「花燃ゆ」巡回展

「花燃ゆ」の見所を紹介します。

■さいたま展

9月7日(月)～13日(日)
川越まつり会館

■奈良展

9月17日(木)～30日(水)
NHK奈良放送局ハートプラザ

ボ商品企画やワークショップなど
も行われます。陶芸家の止原理美
田原崇雄(長門市) や岩川旗店が
出展します。また、9月20日限定
で、yūjūri (パン) が出展します。

9月18日(金)～9月23日(水・祝)
午前10時～午後4時(23日は、午
後3時30分まで)
防府市戎町1・1・28 防府市地
域交流センター「アスピラート」
(0835・26・5151)

九州地区

■九州指月会

九州地区の萩高同窓会。
9月12日(土) 正午～
福岡県福岡市博多区博多駅東2・
1・1 博多都ホテル
(093・201・6303) 廣瀬

萩市関係

■萩商工高等学校同窓会つばき会

萩商工高つばき会の本部総会。
10月10日(土) 午後6時～
会費3000円(弁当代、福引代
含む)

平安古町544 萩商工高校体育館(0838・22・0034)小田

山口県現代工芸美術館
吉賀将夫など山口県在住の現代工芸作家の陶芸などを展示。
9月27日(日)まで 午前9時～午後5時
萩市椿東426・1
吉賀大眉記念館
(0838・26・5180)

●須佐・男命いか直売市
大人気の男命イカの直売。売り切れ次第終了です。
9月27日(日)までの間の土曜日、日曜日、祝日
午前9時30分～(整理券午前8時30分から発行)
萩市須佐須佐漁港
山口県漁協須佐支店

新規(再)加入会員
藤田司さん (山口市)
松永正治さん (山口市)
白井敏昭さん (山口市)
嶋口美智子さん (大阪府大阪市)
神崎博次さん (兵庫県神戸市)
城岸昭春さん (大阪府守口市)
西本昌敏さん (大阪府柏原市)
末永達男さん (萩市)
田中久三さん (広島県広島市)
守永重子さん (兵庫県西宮市)
小林恵美子さん (奈良県大和郡山市)

(6月25日～8月28日 11人)

(08387・6・2311)

●米原祥三展
書の展示が行われます。
9月3日(木)～28日(月)
萩市川島295 藍場川の家
(0838・26・1536)

●ウィレッジコンサート
モンティ・アレキサンダー(ピアノ)、ハッサン・シヤクアー(ベース)、デニス・マクレル(ドラム)によるピアノ・トリオコンサートです。ゲストヴォーカルでカテリーナ・ザッポニーが出演します。
10月17日(土) 午後6時30分～午後8時20分(入れ替え)
料金 8000円(各セット)
萩市土原291・1
喫茶ヴィレッジ
(0838・25・6596)

●鏡(仮題)
金子司、野坂和左、中島大輔、濱中史朗による展覧会です。
10月23日(金)～11月3日(火)祝
萩市呉服町1・3 彩陶庵
(0838・25・3110)

●テレビ・ラジオ情報
■さわやか自然百景「山口阿武火山群」
山口県・萩の周囲にある阿武火山群の多様な地形が育む豊かな生きものなどを紹介します。
9月13日(日) 午前7時45分～7時59分(九州各県、沖縄は、午前8時10分～8時24分)

●NHK総合(全国)
※BSプレミアムで、9月14日(月) 午前11時～11時14分、NHK総合で、午後3時41分～3時55分に再放送(予定)
●NHKカルチャーラジオ 歴史再発見「松陰と幕末・明治の志士たち」
松陰の思想と松下村塾からあらわれた幕末の志士たちについてのラジオ講座です。
放送局 NHKラジオ第2
放送日時 9月22日までの毎週火曜日、午後8時30分～9時(再放送は翌週火曜日の午前10時～10時30分)
テキスト 書店等で販売(905円+税)

出版情報

●花燃ゆ(三) 作 大島里美、宮村優子、金子ありさ、ノベライズ 五十嵐桂子
価格 1400円(税別)
出版社 NHK出版
●世界遺産登録記念「明治日本の産業革命遺産」
各資産がカラーで紹介されており、萩の資産も掲載されています。
価格 750円(税別)
出版社 笠倉出版社
●「HAGI」
萩の史跡や神社、萩焼、伝統旅館、酒蔵などにスポットライトをあて、その魅力を写真と文で紹介。

プレゼント

定価 5000円
部数 2000部
出版社 (株)メッセーシデザインセンター
5ページで紹介した「凶録 吉田松陰の手紙」萩博物館所蔵杉家寄贈資料」を2名様
●応募方法 ハガキに品名、住所、氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。9月25日(消印有効)。

●3回目萩・幕末維新検定は来年2月7日(日)に実施！
今回から、全問択一式の初級コースを実施し、中級、上級のコースで幕末・維新を学べます。
詳細については、萩・幕末維新検定ホームページ(http://machihaku.city.hagi.lg.jp/bakumatsushin/)でお知らせします。
●問い合わせ
萩市まちじゅう博物館推進課
(0838・25・3290)

萩ものしり博士検定

萩ものしり博士検定は、萩のまちじゅうにある自然や歴史、文化のおたからと、それにまつわる物語を学ぶことができます。

- 検定日 11月22日(日)午前10時30分～11時15分(博士課程は正午まで)
- 検定場所 萩セミナーハウス(萩市堀内)
- 受験資格 修士:萩を愛する方ならどなたでも、博士:修士合格者
- 試験時間 修士:45分、博士:90分
- 出題形式 修士:テキスト(改訂版)奇数番号(385問)から100問、択一式、博士:テキスト(改訂版)から100問、記述式・択一式
- 受験料 修士:1,000円(税込)、博士:2,000円(税込)
- 合格基準 80問以上の正解
- 公式テキスト 萩ものしり博士検定(平成21年に改訂版)、1,500円
- 申込方法 11月6日までに、まちじゅう博物館推進課(萩博物館内)などに備え付けの申込用紙(萩まちじゅう博物館ホームページからダウンロード可)を郵送、FAX
- 主催・申し込み 〒758-0057 萩市堀内355番地 萩市まちじゅう博物館推進課内萩ものしり博士検定実行委員会事務局(FAX0838・25・3142)
- 問い合わせ 萩市まちじゅう博物館推進課(0838・25・3290、http://machihaku.city.hagi.lg.jp/monoshiri.htm)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 10月1日(木)～12日(月・祝)10:00～17:00
◇着物ウィーク in 萩 萩城下町周辺
- 10月9日(金)～11日(日)18:00～21:00
◇萩・竹灯路物語 萩城下町周辺
- 10月9日(金)～12日(月・祝)10:00～18:00
◇萩・田町萩焼まつり 田町商店街
- 10月11日(日)9:30～
◇萩・魚まつり 萩地方卸売市場道の駅・萩シーマーと
- 11月14日(土)、15日(日)10:00～16:00
◇萩ふるさとまつり 中央公園
- 11月15日(日)8:00～
◇萩時代まつり 中央公園市内各所



着物ウィーク in 萩

江戸時代の町並みをとどめる風情漂う萩で着物を着てまち歩きが楽しめます。期間中は、お食事処などでの着物割引や、写真プレゼントなどいろいろな特典があります。また、和の学び舎や着物フォトコンテストなど、萩ならではの着物体験が楽しめます。



萩・竹灯路物語

竹で作った灯籠の中にろうそくを灯した竹灯 2000 基あまりが夜の城下町を幻想的に浮かび上がらせます。江戸情緒あふれる町並みを着物姿で歩いてみませんか。



萩時代まつり

「萩大名行列」は萩市椿の金谷天満宮祭礼において、江戸時代から神社に奉納されてきた奉納行列です。「平安古備組」と「古萩町大名行列」を合わせて総勢 200 人を超える行列が市内を練り歩きます。午後からは、毛利歴代藩主や奇兵隊、萩大名行列による萩時代パレードが市内を練り歩き、江戸時代の歴史絵巻が繰り広げられます。



萩・田町萩焼まつり

約 400 年の伝統を誇り、観光土産品としても人気の萩焼。約 40 社が出店しての大即売会のほか、萩の名産・物産展なども開催されます。いろいろな萩焼を実際に手にとってみて、お店の方と話しながら気軽に買物が楽しめます。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

木版画家 立原位貫 たちはらいぬき 一江戸の浮世絵に真似ぶ まね

9月27日(日)まで



立原位貫は、高度な浮世絵版画の彫摺の技法を独学で習得するだけでなく、紙や絵具といった画材や道具も復元し、文字通りの再現を試みた作家です。復刻作品と原画、画材と道具、オリジナル作品の3つのセクションで構成し、立原位貫の活躍を紹介します。

■観覧料 一般 1000 円、70 歳以上の方・学生 800 円、18 歳以下無料

■休館日 9月14日(月)

●青磁のいま ～受け継がれた技と美 南宋から現代まで～

10月10日(土)～11月29日(日)

中国・南宋時代の名品から、近代陶芸史に名を残す物故作家の優品、人間国宝や若手作家の最新作までを紹介します。

萩博物館だより

☎0838・25・6447

明治日本の産業革命遺産と萩



9月19日(土)～11月29日(日)

今年7月、萩市の資産を含む「明治日本の産業革命遺産 | 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録されました。本遺産は、日本のわずか50年の間の急速な近代化・工業化の過程を視覚的に物語るものです。この企画展では、「明治日本の産業革命遺産」における萩の5資産の位置づけを紹介し、幕末の萩(長州)藩が取り組んだ工業化の試行錯誤の段階から明治政府による工業化の実現へと至る一連の軌跡を明らかにします。

■観覧料 大人 510 円、高校・大学生 310 円、小・中学生 100 円

●城下町・萩のひみつ ー迷宮へのいざない

12月12日(土)～4月7日(木)